令和７年度　高齢者あんしんセンター事業計画

**資料２-②**

|  |
| --- |
| Ⅰ．運営全体 |
| １）地域住民や高齢者を含めた多様な担い手が参画する支え合い体制の仕組みづくり２）複雑化・複合化した課題を有するケースに対する、包括的な相談支援体制のさらなる強化及び充実３）高齢者あんしんセンター職員の総合調整力や指導力等の技術向上のための研修の開催４）災害時等、不測の事態にも備えた、一貫性・連続性のある情報管理体制の整備５）職員一人ひとりにおける公益的な機関としての認識及び公正な運営の確保 |
| Ⅱ．介護予防支援業務 |
| * 1. 生活習慣病予防やフレイル予防に関する取り組みの充実による、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進
	2. 総合事業における「生活の継続性」を重視した、自立支援型介護予防ケアマネジメントの強化
	3. 地域団体等との連携を強化し、身近な地域で介護予防の取組みをしやすい環境の整備
 |
| Ⅲ．総合相談支援業務 |
| 1）地域行事やイベント、SNS等を活用した、全ての世代に対する高齢者あんしんセンターの周知・啓発2)　高齢者虐待を起こさせない、包括的な相談支援体制の強化・充実3）認知症の本人や家族の意見を重視し、「共生」と「予防」の観点を踏まえた取り組みの推　　進4）複合的な課題を有した世帯の課題を見える化し、職員の対応力および支援体制の強化 |
| Ⅳ．権利擁護業務 |
| 1. 高齢者虐待を未然に防ぐための地域への積極的な啓発及び「高齢者虐待ゼロ」を目指した介護保険事業者等への研修の実施
2. 認知症に関する、若年層を含めた地域への啓発（認知症キッズサポーターの養成、認知症ケアパスの普及）および理解促進にむけた取り組み
3. 認知症の人や家族が交流する機会や地域の一員として役割をもって社会参加につながる活動の推進
4. 権利擁護支援に係る中核機関「権利擁護センター（ほっとネット）」との連携による、成年後見制度等の活用促進に向けた相談支援体制の強化及び地域連携ネットワークの拡充
 |
| Ⅴ．包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 |
| 1. 介護保険事業者連絡協議会居宅部会との連携による、研修会や事例検討会、意見交換の場等の開催及び充実
2. 介護支援専門員が参加しやすい「自立支援型地域ケア会議」の工夫
3. 介護支援専門員が対応している、困難事例等に対する助言・指導及び後方支援
 |
| Ⅵ．多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築 |
| 1. 「在宅医療・介護連携相談窓口」との連携による、切れ目のない支援体制の充実
2. 認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームとの連携強化および充実
3. 医療関係者との事例検討会、勉強会等への参加
4. 地域ケア会議などを通じた、保健・福祉・医療及び地域の関係者への働きかけによるネットワークの強化及び相互のつながりの構築
 |
| Ⅶ．地域ケア会議の実施 |
| 1. 障がい福祉分野をはじめとした、地域の関係機関との積極的な連携
2. 多職種と連携した、地域ケア会議随時会議の積極的開催
3. 多職種連携のもと、自立支援・重度化防止の観点からの個別事例の検討
4. 「自立支援型地域ケア会議」におけるケアプランの検討による、ケアマネジメントの向上
 |